

# 平成25年度塩竈市水道事業報告書

## 1 概況

### (1) 総括事項

#### イ. 給水状況

本年度の年間総配水量は、大倉ダム水系の 6,565,802 m<sup>3</sup>及び仙南・仙塩広域水道用水供給事業からの受水量 1,228,318 m<sup>3</sup>の合計 7,794,120 m<sup>3</sup> (21,354 m<sup>3</sup>/日)で、前年度 8,018,466 m<sup>3</sup> (21,968 m<sup>3</sup>/日)に比較し 224,346 m<sup>3</sup> (615 m<sup>3</sup>/日) 2.80%減少しました。また、一日最大配水量は 24,604 m<sup>3</sup> (8月12日)で、前年度 25,380 m<sup>3</sup>に比較し 776 m<sup>3</sup> (3.06%) 減少しました。

年間有収水量は、6,603,676 m<sup>3</sup> (18,092 m<sup>3</sup>/日)で、前年度 6,702,988 m<sup>3</sup> (18,364 m<sup>3</sup>/日)に比較して 99,312 m<sup>3</sup> (272 m<sup>3</sup>/日) 1.48%減少しました。これは、口径 20m/m、40m/m、50m/m、臨時用水で 43,916 m<sup>3</sup>増加したものの、それ以外の全口径及び生産用水等で 143,228 m<sup>3</sup>減少したことによるものです。

漏水防止対策は、本年度も地下漏水の音聴調査や配水管布設替工事、さらに災害復旧工事に取り組んだ結果有収率は 84.73%と、前年度 83.59%に比較し 1.14 ポイントの増となりました。

年度末における使用栓数は、復興住宅等の給水栓の増加などにより、前年度と比較して 110 栓増加し、25,969 栓となりました。

#### ロ. 建設改良の状況

##### ○ 第6次配水管整備事業

本事業は、送配水管の布設替、中小口径管統合、赤水・出水不良・漏水多発路線の布設替を行い、出水不良地域の解消及び有収率の向上に努め、より一層の安定供給を図るものです。本年度は昨年度に引き続き、漏水多発地域である北浜地区及び牛生町・芦畔町、花立町の一部を口径 50m/m～250m/m、延長 511.2mの配水管布設替工事を行いました。

##### ○ 改良事業

主な改良工事として、大倉ダム堰堤改良（負担金）、フロキュレーター更新工事、配水管布設替工事等を行いました。

また本年度、東日本大震災の応急給水活動の経験を踏まえ、災害時などの多様な状況に迅速な給水を可能とする加圧式給水車を整備しました。

#### ハ. 災害復旧事業の状況

##### ○ 災害復旧事業

3か年計画で実施してきた海底配水管本復旧工事の最終年度に当たる本年度は、野々島・朴島間を口径 75m/m、延長 1,156.0mの布設替工事を実施しました。また今回布設した配水管は従来使用の管に鋼帯を巻き付け補強を施したものを採用しましたので、より強靱性及び耐蝕性に優れた海底配水管への布設替工事を行うことができました。

##### ○ 特例災害復旧事業

本事業は東日本大震災により被災した沿岸部の水道施設等で、被災自治体の復興計画が策定中などの理由により、早期の災害査定実施が困難な場合に、協議設計を特例として平成 24 年度認め

られた事業です。実施初年度の本年度は貞山通地区の 4 路線と港町地区の 4 路線、合計 8 路線の保留解除を行い、口径 50m/m～200m/m、延長 3310.2mの配水管布設替工事を行いました。

## 二. 財政状況 \* ( ) 内は税込決算数値

本年度の総収益は、1,637,794,437 円 (1,717,798,985 円) で、前年度の、1,673,039,750 円 (1,752,927,850 円) に比較し 35,245,313 円 (2.1%) 減収しました。これは、水道加入金、受託工事収益、固定資産売却益等で 47,937,225 円増収したものの、給水収益、国庫補助金、他会計補助金等が 83,182,538 円減収したことによるものです。

これに対しまして、総費用は 1,342,558,866 円 (1,417,915,442 円) で前年度 1,407,460,276 円 (1,484,765,183 円) に比較し、64,901,410 円 (4.6%) 減少しました。これは災害による特別損失が 24,470,631 円増加しましたが、原水及び浄水費、配水及び給水費、漏水対策費等の営業費用で 89,374,093 円減少したことによるものです。

これらの結果、本年度は 295,235,571 円の純利益を生じ、当年度未処分利益剰余金は 952,588,549 円となりました。

資本的収支は、総収入 526,713,651 円 (うち仮受消費税 623,650 円) に対し、総支出 968,618,124 円 (うち仮払消費税 18,283,617 円) となり、収入不足額 441,904,473 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 17,659,967 円、当年度分損益勘定留保資金 329,515,264 円及び減債積立金 94,729,242 円で補てんしました。

以上が平成 25 年度塩竈市水道事業決算の概況であります。

今後も安全・安心な水道水の安定供給の確保を目標に、塩竈市震災復興計画の進捗に併せ、特例災害復旧事業を推進し、災害に強い水道を目指します。

また加圧式給水車の整備により、効率的な応急給水活動が可能となりましたので、給水拠点箇所に仮設水槽を計画的に配備いたします。

なお、平成 25 年 4 月より利用者サービスの向上と効率的な業務体制の構築を図るため、水道事業の窓口関連業務である水道料金徴収等関連業務の民間委託を実施し、塩竈市水道お客様センターを開設いたしました。

これにより今後も一層の利用者サービスの向上を図り、効率的かつ機能的な水道事業の経営に努めてまいります。